

令和8年度県中域内地域連携担当教職員等研修会



日時：6月23日（火）13:30～16:00

場所：県中教育事務所大会議室 A

出席者数：62名 小学校教員20名、中学校教員7名、県立中学校1名、高等学校教員6名、
特別支援学校1名、学校事務職員1名、小・中・高・義務教育学校管理職9名、
市町村行政担当者7名、地域コーディネーター7名、こども園教諭1名、
児童クラブ1名、社会教育課1名

《講義・演習（ワークショップ）》

先生がつなく、地域と学び 地域がつなく、学校と学び ー あいだにたつしごと ー

磐梯町教育委員会教育再デザインセンター

地域プロジェクトマネージャー

ホワイトボード・ミーティング®アドバンス認定講師

本川 良 氏

○ 場を作る（自己紹介）

自己紹介を通して、安心・安全な場であることの確認と、共に学びを作るという意識を高めることができた。

○ 事例を見る（磐梯町の事例）

学校運営協議会・地域学校協働本部では、学校運営の方針や活動内容の「報告の場」から「一緒に考える場」へ「場の持ち方」を見直したことにより、諸問題を自分事として捉えることができた。

○ 技術を知る（ファシリテーションの6つの技術）

①インストラクション ②クエスチョン ③アセスメント

④グラフィック&ソニフィケーション ⑤フォーメーション

⑥プログラムデザイン

○ 練習をする（質問の技カードを使用して）

問い方の練習を兼ねて、行政、教員、コーディネーターが入り交じったグループで、「地域連携を進める上で、少し困っていること」についてそれぞれの立場から対話することができた。

○ 対話をする（ワールドカフェで深める）

「子どもの学びと地域の力をつなげるために、私たちはどんな『あいだに立つしごと』ができるだろう？」の質問について考え、ワールドカフェで各テーブルを回り、考えを深めることができた。



参加者の声より

・心地よい空間づくり、人間関係作りを築く方法が分かっただけでなく実践につなげていきたい。（教員）

・ホワイトボード・ミーティング®を初めて行ったが、グループ

の皆さんと情報共有できてよい機会となった。（コーディネーター）

・運営協議会の持ち方（席の配置や雰囲気作りも含めて）を動画で見せていただいたように、なんでも言い合える会にするため工夫していきたい。（学校の管理職）

・ファシリテーターとしての役目、進め方についてよく知ることができた。（行政）

・担当している行事を地域の公民館とつなげ、一緒に活動してみたい。（教員）

